

児童クラブだより
第 96 号

2019年10月31日

またあした



特集!

上級生から下級生へ 行事を通して 育まれるもの



藤沢市みらい創造財団が運営する市内 55 か所の児童クラブでは年間で春には入所歓迎会、夏にはキャンプ、秋から冬にかけては児童クラブ交流会、児童クラブまつりといった共通の行事を設けています。今号では「上級生から下級生へ行事を通して育まれるもの」をテーマに特集します。

「行事」とは日頃の生活とはまた違う特別な日です。行事の本番を迎える前には「話し合い」や「計画」「準備」が必要となります。子どもたちの自治や主体性を大切にしている児童クラブにおいて、その工程はもちろん子どもたちが主役です。楽しいこともあるけれど、決して簡単ではない、行事の本番までの上級生と下級生の関わりと成長の姿をお伝えします。仲間と共に「頑張れる日、頑張りたい日、頑張りが報われる日」児童クラブの行事はそんな一日となっているようです。

①話し合い

どんなことをしようかな
できるかな



日程が決まったら本番に向けて話し合いを行います。指導員は行事のねらいや目的を子どもたちに伝え、意見を引き出しながら、子どもたち中心に話しを進めていきます。経験のある上級生からは「楽しそうだけど、危ないかな?」「去年はここで失敗したから今年に変更した方がいいね」といった全体を意識した意見が出ます。下級生はみんなの前で勇気を出して意見を言う事が第1歩。意見に賛同してくれる友だちがいた時の嬉しさは自信に繋がっていきます。複数の意見を一つにするのは簡単ではありませんが、話し合いを通じて相手の思いに気づき、新たな考えに触れることで仲間として成長していきます。

②準備

本番に向けて
一致団結!



話し合いで実施する内容が決定すると計画を立て、いよいよ準備が始まります。これまでの行事の経験を活かし、上級生は下級生へ「本番はこんなことがあるよ」「全体で練習があるからね」と声掛け。本番に向けてイメージの共有し、当日を楽しみにできる上級生からの言葉は下級生の安心感につながります。物品の作成では見本を作って作り方を教え、発表の練習では先頭にたってみんなのお手本になり、準備の中心にいるのも上級生です。時には厳しさを見せることもありますが、下級生への優しい言葉かけ、分かり易く伝える難しさの壁に向き合いながら、準備期間は相手を思いやる気持ちが育まれる期間でもあります。

③本番までに...

大変なこともあるけど
乗り越えよう

行事の前になり、準備が始まると、思うように遊べない時間が増えていくことがあります。上級生は下級生が遊んでいる時間に集まって話し合いを行うこともあります。そんな時「こんなことするより遊びたいよ〜」「なんでもいい!」と投げ出されたいくなる気持ちになることだってあります。その気持ちはみんなも良く分かっています。大変な時こそ、本番で「頑張ってたね!」「良かったね!」と言える喜びを知っている上級生を筆頭にお互い励まし合いながら準備に向かっていきます。

④本番

いざ、本番!
楽しもう~



話し合いからスタートし、本番を楽しみにたくさんの準備と練習を重ねてきました。けして簡単ではない準備や練習期間を経て、その気持ちをぶつけるように本番当日は大いに盛り上がります。周りから「頑張っていたね」「面白かったよ!」と言われた時、また仲間の笑顔に出会った時、過ぎてきた努力が確かに実を結び、成功した喜びをみんなで共有しあうことが出来ます。

⑤本番を終えて...

大変!
でも楽しかった!!

行事を終え、振り返る中で「準備が大変だったけど、楽しかった!」「教えるのが難しかった」「笑ってくれて嬉しかった」といった感想が子どもたちから聞こえてきます。大変ではあったけれど、楽しい本番を共有した仲間がいる!その達成感は児童クラブの仲間意識を育み、結束となっていきます。行事後は普段の生活に戻りますが、その結束は変わりません。子どもたちにとって児童クラブがまた一つ自分の居場所となっていきます。初めて行事を経験する1年生も、上級生の言葉や姿を頼りに準備を進め、不安な中でも出来た嬉しさを知ります。その体験は次に学年が上がり上級生になった時に繋がっていきます。



クラブまつり開催中!



遊びにきてね!

今年も9月から12月までの間、市内55か所の児童クラブで「クラブまつり」を開催しています。クラブまつりは、クラブでの普段の遊びを発展させ、ゲームコーナーや工作、発表など、子どもたちの表現の場を作ります。そして、地域のみなさまに児童クラブを知っていただくことを目的に行っています。

子どもたちは「どんなクラブまつりにしたいか」意見を出しあう段階から準備スタート!

工作で使う材料を揃えたり、ゲームで盛り上がるようなルールを考えたり、可愛い、カッコいい景品を沢山用意したりと来場者に楽しんでいただけるように準備をして本番を迎えます。

学校の友だちや保護者のみなさんはもちろん、地域の方々もお越しいただけます。子どもたちの輝く姿をぜひご覧ください。



市内各所の児童クラブまつり日程と内容を一覧でご紹介!



QRコードを読み込むと詳細をご覧ください。

みらぞう君が児童クラブにやってきました! ⑥



～「野外炊事：火おこし」の巻～ ～ ぽてんこ児童クラブ（鵜沼小学校区）～



ナタで薪を割るよ



薪に火をつけます



わあ、いい火になってきたね

上級生（3年生～5年生）の子どもたちが夏のキャンプに向けて、野外炊事の火おこしと飯ごう炊飯の練習をすると聞きつけ、今回、みらぞうは鵜沼小学校区の「ぽてんこ児童クラブ」を訪れました。

子どもたちは指導員の話しを聞いてから練習開始! 薪を組み、マッチを使って新聞紙に火をつけて、細い薪に火をうつし…。真剣に頑張るみんな! なかなか火がつかなかったり、一度ついた火が消えてしまったりと、火おこしは難しそうです。それでも、ぽてんこの子どもたちは、あきらめずに何度も挑戦していました。無事に火が大きくなり、飯ごうから水分が吹きこぼれ、少し間を空けてから飯ごうの蓋をあけてみると、ピカピカなご飯が炊きあがりしました。「んー! おいしい!」ぽてんこの子どもたちと早速味見をしたみらぞう。みんなで協力して作ったご飯の味は最高でした。

「みんなの夏のキャンプが楽しいものになりますように」と願うみらぞうでした。

みらぞう君、次はどこクラブに!?
お楽しみに♪



飯ごうの蓋をあけると、あつあつのご飯のできあがり!



この日のおやつはカレー! 飯ごうのご飯は「美味しい」と好評だったよ

夏休み 防災訓練

夏休みに藤沢消防の方のご協力をいただき、19の児童クラブが防災訓練を行いました。子どもたちは実際に消防車に乗せていただいたり、消火器の使い方を教えていただいたりと様々な体験をしました。その中でも119番通報の練習では、以前、指令センターで働いていた方を相手に、緊張した様子で状況を伝えようとする子どもたちの姿がありました。火災が起きた時に自分にもできることがあると知った子どもたちの表情はとても真剣でした。藤沢消防のみなさん、ありがとうございました。



実際見ることで、出てきた質問にもその場で答えていただきました。真剣な表情です。

クイズ大会の正解者には防火服の着用をさせていただきました！



地域交流

～第2どろんこ児童クラブ～

鵜沼松が岡5丁目緑地公園にて、公園愛護会のみなさんにお声をかけていただき、木の名前を書いた樹木板の取り付け作業を子どもたちが体験しました。1つ1つの木に自分たちで樹木板をつける作業を通して「大人になっても地域とこの経験を思い出せる」そんな機会を作れたという事でした。子どもたちにとって自然とのふれあいは開放感と共に好奇心を育てる大切な時間となりました。公園愛護会のみなさん、ありがとうございました。



緑地公園には、26種類もの木がありました。また散歩に行こうかな♪

財団創立10周年! 未来プロジェクト

(公財) 藤沢市未来創造財団は市民の皆様に支えられて2020年4月に創立10周年を迎えます。メモリアルイヤーとなる2020年に向けて他部門も含めた財団全体での記念事業として『未来応援プロジェクト』が始動しました。児童クラブでは交流会の形を変えて記念事業としての企画を考えています。どうぞ2020年をお楽しみに!!

2020年度 入所申込期間

1次受付
11月20日(水)
～12月12日(木)



その他、入所申込に関する詳細はQRコードよりご確認ください。

予告 児童クラブ交流会

北部エリア

北I 11月2日(土)
北II 11月3日(日祝)

南部エリア

南I 12月7日(土)
南II 12月8日(日)

現在、児童クラブ交流会に向けてリズムけん玉などの練習をしています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



公益財団法人 藤沢市未来創造財団

〒251-0054
藤沢市朝日町10-8 藤沢青少年会館内
放課後児童育成課

TEL 0466-21-6709
FAX 0466-28-0009
URL <https://www.f-mirai.jp>
E-mail jidouclub@f-mirai.jp

